

講演会

文化芸術と地域の活性化 共生社会の実現に向けて



近年、日本の地域社会では、高齢者や障がい者、在留外国人、ひきこもりなど地域から孤立する人々への働きかけや他者への理解、思いやりのあり方が問い直されています。

公立文化施設においても、文化芸術を活用した共生社会の実現への取り組みが、その役割として求められるようになってきました。こうしたなか、今年の冬から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は、人々に他者との一定の距離を求めただけでなく、排他的な言動への連鎖が懸念される状況を引き起こしました。

人々が違いを認め合い、地域で幸せに暮らすには私たちはどうあるべきか。

ダイバーシティを「多様なバックグラウンドや属性を持つ人々が違いを受容し合い、対等に機会が開かれること」と定義し、推進する京都精華大学のウスビ・サコ学長をお招きし、講演会を開催します。

2020年

10月21日(水)

14:00～15:30

びわ湖ホール 小ホール

滋賀県大津市打出浜 15-1

入場無料(要申込み) 定員 60名

主催：滋賀県公立文化施設協議会
文化・経済フォーラム滋賀



お申し込み・問い合わせ：
(公財)びわ湖芸術文化財団地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1
電話 077-523-7146 FAX 077-523-7147
E-mail bunka-keizai@biwako-arts.or.jp

講師

ウスビ・サコ氏

Oussouby SACKO, Ph.D.



京都精華大学 学長

マリ共和国生まれ。高校卒業と同時に国の奨学金を得て中国に留学。中国・北京語言大学、南京東南大学を経て来日。京都大学大学院建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。専門は空間人類学。「京都の町屋再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。バンバラ語、英語、フランス語、中国語、関西弁を操るマルチリンガル。2001年から京都精華大学人文学部教員、2018年4月に同大学学長に就任。共著書に「知のリテラシー文化」(ナカニシヤ出版)、「現代アフリカ文化の今15の視点から、その現在地を探る」(青幻舎)、単著書に『「これからの世界」を生きる君に伝えたいこと』(大和書房)、「サコ学長、日本を語る」(朝日新聞出版)など。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加を希望される方はお名前と連絡先のご登録をお願いしております。また感染拡大の状況によっては、中止する場合がございますので、文化・経済フォーラム滋賀のホームページで確認をお願いいたします。ご来場の際はマスク着用にご協力ください。体調がすぐれないとお感じの方は、ご来場をお控えください。

お申し込みやチラシのダウンロードも文化・経済フォーラム滋賀のホームページからできます。右のQRコードからアクセスしてください。



文化・経済フォーラム 検索